



二次診療施設における 呼吸器科の概要

動物救急センター府中
呼吸器科 進藤 允



本日の流れ

1 専門科目としての呼吸器科

2 施設間の連携

3 症例紹介

4 Questions & Answers



呼吸器科の診療対象になり得る臓器

- 口腔
- 鼻腔
- 副鼻腔
- 鼻咽頭
- 口咽頭
- 喉頭咽頭
- 気管
- 気管支
- 軟気管支
- 肺胞
- 間質
- 縦郭
- 胸膜
- 心膜
- 肋骨
- 横隔膜

呼吸に関与し得る臓器は

極めて多い



呼吸器科の診療対象になり得る疾患群

- 呼吸器疾患
- 循環器疾患
- 腫瘍性疾患
- 感染性疾患
- 免疫学的疾患
- 口腔内疾患 (歯牙疾患)
- 血液疾患
- 内分泌疾患
- 神経疾患
- 筋疾患
- 消化器疾患

呼吸に関与し得る疾患は

多岐にわたる



異常呼吸
吸気努力
呼気努力
浅速呼吸

吸気努力

呼気努力

浅速呼吸



ERセンターとしての呼吸器科の役割

呼吸不全動物
の受け入れ

様々な
呼吸不全

- 緊急症例
- 難治症例
- 24時間管理

呼吸状態の
安定化

トリアージ
サルベージ

- 内科治療
- 外科手術
- 人工呼吸管理

検査・診断

一次検査
二次検査

- MDB作成
- 動脈血液ガス
- X線透視検査
- CT撮影
- 内視鏡

治療方針
の決定

内科治療
外科手術
IVR

- 主治医で治療
- 当院で治療



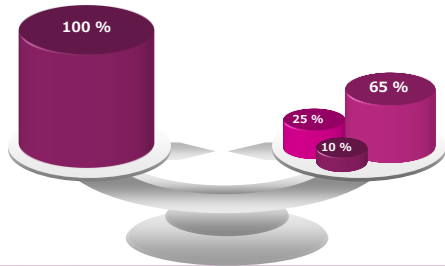
ERセンターとしての呼吸器科の役割



施設間の連携の重要性



施設間の連携の重要性



より多くの呼吸不全患者の救命を目指して…

Emergency &
Critical Care
+
Respiratory
Medicine



Thank You!